

袋の中でも紙幣をきっちり揃え 現金輸送会社の計数時間を短縮

「CASHINFINITY™」に、紙幣を揃えて 集積可能な回収用袋(パウチ)を搭載

小売店舗向け現金管理システム「CASHINFINITY™」は発売以降、利便性と品質の高さから、欧米を中心に急速に売上を伸ばしております。このたび当社では、バックオフィスで使用する紙幣硬貨入出金機<CI-100>に搭載する紙幣回収用パウチにおいて、紙幣を揃えて集積する技術を開発いたしました。

欧州では、小売店のバックオフィスに集めた紙幣を現金輸送会社が回収する際、パウチを使用しています。従来のパウチでは、回収後の紙幣がバラバラの状態での収納されていたため、計数する際、紙幣を整えるのに時間がかかっていました。これを、新たに開発したパウチに代えることで、その手間がなくなり、現金輸送会社の計数に要する時間は約5分の1に短縮されました。



**回収した現金の
計数時間が
5分の1に!**

開発
担当者の
声



開発本部
第一開発統括部 設計三部

竹村 揚一

機械内で熱によるパウチ密封処理を実現

パウチの中で紙幣を揃えて集積された状態に保つためには、回収した現金の量に応じて封をする位置を上下に変える必要があります。これを可能にするため、熱を用いた密封処理を実現しました。その結果、プラスチックテープで封をする従来のパウチに比べ大幅にコストを削減することができました。開発にあたっては、さまざまな国での使用を想定し、気候や供給電力等に影響されず、確実かつ均一に密閉できるよう試行錯誤を重ねました。今後は、当社初となるこの技術を他の製品へも応用し、多様なお客さまのニーズに応えていきたいと考えております。

多様なレジ業務を快適に—— レジつり銭機をコンビニエンスストアへ

コンビニエンスストア向けレジつり銭機 <R03シリーズ>を開発

当社は、1992年に業界初のレジつり銭機を発売以来、スーパーマーケットや専門店、飲食店を中心に販売拡大を図ってまいりました。一方、これまで導入が進んでいなかったコンビニエンスストアでは、人手不足が深刻化し未経験者の即戦力化や現金管理の効率化等、レジ業務の負担軽減につながるレジつり銭機の必要性が高まっております。そこで当社は、コンビニエンスストアをターゲットとした新型レジつり銭機<R03シリーズ>を開発いたしました。

特長
1

カウンター内の作業を妨げないスリムデザイン

硬貨・紙幣の入出金口の突出を最大130mm削減*。
機器の幅も約10%縮小*しました。



(※いずれも当社従来機比)

2017年度 グッドデザイン賞を受賞

実用性に加え、シンプルかつ美しいデザインを実現いたしました。色や素材等、店舗に合わせてカスタマイズ可能なアレンジ性の高さも評価いただきました。

特長
2

コンビニエンスストアに 最適な入出金部レイアウト

宅配の受付や公共料金の収納代行など、コンビニエンスストアにおける取扱業務は多種多様。お客さまと対面しながら、レジつり銭機を操作しやすいよう、入出金部を片側に集めました。



企画
担当者の
声



国内事業本部
商品企画部

金川 正幸

コンビニエンスストアの店舗業務の生産性向上に貢献

企画に携わった全ての社員の夢と情熱により、本製品を世の中に送り出すことができました。企画の中で一番苦労したのは、取引スピードやサイズなど、コンビニエンスストアならではの要求仕様の実現です。レジ業務や現金管理業務を調査・分析し、対策を練り、何度もお客さまへのレビューを重ねて本製品を作り上げました。国民生活を支えるコンビニエンスストアの次世代システム構築の中で、店舗業務の生産性向上に貢献できることを嬉しく思います。

この経験を生かし、今後も世の中を支える新たな製品を生み出していきます。